

6 本時の学習（12時間予定 本時はその10）

（1）ねらい

1 食分の食事の献立を選びながら、材料や手順を考えながら調理計画を立てることができる。

（2）人権教育の視点

班で協力しながら効率よく調理実習する方法を考える。

（3）準備 学習ノート 掲示用資料（模造紙・画用紙）

（4）展開（きめ細かな指導）

学習内容	時間	支援及び指導上の留意点	評価規準（方法）
1 調理実習の献立を知る。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・次時はお弁当作りの調理実習をすることを知らせる。 ・前回の献立発表会から決定したお弁当作りのメニューと調理実習の献立内容を発表する。 ・牛乳など給食センターで用意するものと弁当として持参するものを明確に知らせる。 ・次時に実習する献立について前時の発表資料を見て献立の特徴について振り返る。調理の仕方を確認する。 	（十分満足な状況 おおむね満足な状況）
2 調理実習の方法について話し合い、確認する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・調理台が9台あるので、班編制を行う。 ・班員分の材料と準備方法を確認する。 ・実習に必要な持ち物を確認する。（エプロン、マスク、三角巾）後日、各自が家でお弁当作りをすることを考え自分のお弁当箱を用意させる。 	
3 効率のよい調理手順について考え、学習ノートに記入する。	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに分かれ、作業手順を考えさせる。お弁当作りを想定し、短時間で効率よい作業方法や分担を考えさせる。下ごしらえやガス台の数などに留意しスムーズに作業ができるようにする。 ・決まったことは学習ノートに記入し確認していくようにする。 ・机間巡視を行い、各班の進行状況を把握したり必要により助言したりする。 ・調理に使うなべなどの用具を確認しておく。 ・もりつけは、持参したお弁当箱とし、見栄えも考え、崩れにくいようにアドバイスしておく。 ・学習ノートには分かりやすいようにイラストなどを加えて工夫するようにする。 	効率よい作業手順について考え学習ノートに記入することができる。 （学習ノート） 作業手順を理解し学習ノートに記入することができる。 （学習ノート）
3 次時の予告をする。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は1時間（45分の授業時間）で調理を終了し、お弁当箱にもりつけできるようにすることを確認する。 ・特に注意すべき調理の要点について補足する。 ・安全面についての配慮や衛生面で気を付けること等今までの調理実習の経験から発表させ、確認する。 ・次時の持ち物や食品の管理について確認する。 ・家庭でもお弁当作りをめざし、調理の練習をするようよびかけておく。 	